



三小としょだより

令和7年5月20日 調布市立第三小学校長 秋國 光宏
図書室 司書



おまたせしました！

「三小の100さつ」をスタートします

令和7年の「三小の100さつ」をはじめます。

三小のみなさんに、ぜひ読んでほしい100さつをえらびました。

黄色い「三小の100さつ」ラベルがはってあります。

この100さつの中からえらんで読んだ本の感想を、図書室にある「三小の100さつ感想カード」に書いてポストに入れてください。出したカードが3まいになったら、「1さつおまけカード」をプレゼントします。

また、「三小の100さつ」の本を15さつ読んで感想カードを出した人には、自分のバーコードがついた「プレミアムライブラリーカード」をプレゼントします！（プレミアムの中身はお楽しみに!!）



自分の名前とバーコードが入っているよ！



「三小の100さつ感想カード」を書くときのちゅうい

- 感想は3行いじょう書く。…「おもしろかった」「たのしかった」だけではなく（*高学年は、5行しっかり!） “どんなところが” “どのように” もつたえてね。
- 同じ本の感想は書かない。同じシリーズの本でカウントするのは、5冊まで。
- 図書のじゅぎょう中には書かない。
- 何を書いたか忘れることがあるので、「三小100さつのリーフレット」に印をつけておく。
- 学年に合った本をおすすめするので、参考にしてください。

*1ねん生は、2がっきからはじめます。

よんでみて！ 「三小の100さつ」から しょうかいします



『ぼくのねこ ポー』F913I

岩瀬成子/作 PHP研究所

とおるはくびわをしていないねこをみつけます。のらねこ？ すてねこ？ 「ポー」と名前をつけてかうことに。ところが、てんこうしてきた森くんから「かっているねこがいなくなった」ときいて、とおるのむねはドキドキ…。



『トムと3時の小人』F913タ

たかどのほうこ/作 ポプラ社

ふるどうぐや み かけた、金色の線で、くるくるもようと題が書かれた赤い表紙の本を読んでみたい！ 次の日ぼくは、図書館で本を探しだした。書かれていたのは、少年トムといたずら好きの小人の物語。また古道具屋を訪ねると、そこには!!



『せんそうがおわるまで、あと2分』EJ* ゴールドスティン/作 合同出版

ジュールとジムは、同じ町で、同じ日に、2分違いで生まれた、だいの仲良し。先に生まれたジムが、何でもいつも2分早い。第一次世界大戦が始まり、戦場へ送られたふたりの運命を、その2分という時間が引き裂いていく…。



『野生のロボット』9337* ピーター・ブラウン/作 福音館書店

嵐で無人島に流れ着いたロボットのロス。そこで起動したロスは、この島が生まれ故郷だと思い込み、まわりの動物たちのまねをしていく。動物たちは、最初怪しがるが、あるできごとをきっかけに…。映画の原作にも！



『クジラのおなかからプラスチック』519# 保坂 直紀/著 旬報社

いま、プラスチックごみが海を汚し、海の生き物が悲鳴をあげています。川から海へ流れこみ、小さくくだけ、魚たちが食べてしまいます。自然にかえらないごみが、行き着く先はどこなのでしょう。私たちにできることは何？

